

○津軽森林管理署金木支署の「採材等現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材現地検討会等に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和3年6月25日(金)に青森県五所川原市金木町の小田川山国有林で開催された「令和3年度 採材等現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や支署管内の林業事業者など総勢25名の参加者で開催されました。

今回の採材検討会ではスギの採材について検討を行いました。

支署長の挨拶後、支署の担当者から令和2年度のスギの生産比率や販売単価等の実績、合板材として受入れできない欠点などについて資料を元に説明があり、その後、採材の検討に移りました。

2本のスギ全幹材について、支署管内の事業者ごとに3班に分かれて採材方法の検討を行いました。検討した結果を各班の代表者が発表し、青森県森林組合連合会の担当者が、スギにあった曲がりやくぼみ等の欠点を示し、採材する際に留意するよう指摘いただいた後、実際にチェーンソーで切断し、木口を見て腐れ等の欠点の状態が一般材、合板材として受け入れ可能なのかなど、説明していただきました。併せて、近くに積み上げていたスギ丸太の木口等を見ながら、トビ腐れの状態など合板材として問題ないか確認しました。

その後、支署担当者から金木支署で取り組んでいる生産歩留向上の取組みの説明があり、森林組合連合会より主要工場の稼働状況等を説明していただきました。

青森事務所からは、スギ等針葉樹の一般材、合板材の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、労働安全について説明させていただき、採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。

